

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本事情	
科目基礎情報							
科目番号	0096		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	情報電子工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	適宜プリントを配布する。						
担当教員	好村 友江						
到達目標							
日本の文化・社会についての理解を深める。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		日本の文化・社会について深い理解をしている。		日本の文化・社会についての基本的なことを理解している。		日本の文化・社会についての理解ができていない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		日本の文化・社会についての情報・知識を習得する。また、そのことを踏まえた上で、日本人の生き方や価値観を考察する。					
授業の進め方・方法		日本の文化・社会について、留学生自身の興味や関心と連携させながら授業を進めていく。					
注意点		評価法： 定期試験80%、提出物20%で総合評価する。 学年末評価計算式：前期中間＋前期末＋後期中間＋後期末／4(80%)+提出物(20%) 関連科目：日本語					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	概要		授業の内容説明と自己紹介		
		2週	日本語の日常表現		コミュニケーションの結び方を考える		
		3週	日本の四季		日本の四季の特色と年中行事		
		4週	日本の地理		都道府県別の特色		
		5週	日本人の暮らし ①		交通事情		
		6週	日本人の暮らし ②		生活事情		
		7週	日本人の暮らし ③		食生活		
		8週	前期中間試験		1回～7回までの内容を範囲する		
	2ndQ	9週	日本の名所 ①		日本の世界遺産		
		10週	日本の名所 ②		京都・奈良の歴史と名所旧跡		
		11週	日本の祭り		春と秋の祭り		
		12週	日本の文化 ①		古典芸能（能・狂言）のビデオ鑑賞		
		13週	日本の文化 ②		古典芸能（歌舞伎・文学）のビデオ鑑賞		
		14週	葉書の書き方		暑中見舞状を書く		
		15週	前期末試験		9回～14回までの内容を範囲とする		
		16週					
後期	3rdQ	1週	日本の文化 ③		茶道の体験		
		2週	日本の文化 ④		華道の体験		
		3週	日本の文化 ⑤		書道の体験（筆に親しむ）		
		4週	日本の文化 ⑥		書道の体験（清書する）		
		5週	現代日本の若者文化		若者ことば・ファッション		
		6週	現代日本の大衆娯楽 ①		スポーツ・音楽		
		7週	現代日本の大衆娯楽 ②		映画・漫画		
		8週	後期中間試験		16回～22回（後期1～7週）までの内容を範囲とする		
	4thQ	9週	葉書の書き方		年賀状を書く		
		10週	日本の経済		日本の労働問題		
		11週	日本の教育		大学および教育における社会問題		
		12週	宗教		日本の宗教の特色		
		13週	文学作品 ①		短編小説の朗読を聴く		
		14週	文学作品 ②		同上		
		15週	学年末試験		24回～29回（後期9～14週）までの内容を範囲とする		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	提出物	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100

基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0